

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和7年9月30日)

事業コード	R07-農-継-11	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地すべり防止事業	部局課室名	農林水産部 森林環境保全課
事業種別	地すべり防止工	チーム名	治山・林道チーム (tel)018-860-1943
路線名等	崩ヶ沢	担当課長名	森林環境保全課長 小野 圭
箇所名	由利本荘市鳥海町下笹子崩ヶ沢	担当者名	主任 油座 壘
プランとの 関連	戦 略	防災・減災交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	R2 ~ R11(10年)	総事業費	6.9億円	国庫補助率	50%	
事業規模	・排出土工28,000m ³ 、盛土工28,000m ³ 、集水井工2基、ボーリング暗渠工504m、床固工2基、山腹工(植生基材吹付工)0.56ha、大型暗渠工113.5m、水路工188.5m、種子散布工0.9ha等					
事業の立案 に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> 林野庁所管「崩ヶ沢」地すべり防止区域において、平成30年10月3日に長さ270m、幅390mの範囲で地すべりが発生し、末端を流れる一級河川笹子川を閉塞させた。 地すべり活動がさらに活発化した場合、一級河川笹子川のほか人家や市道等の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、地すべり対策事業による施設整備に着手した。 					
事業目的	<p>【主たる目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭部排土工、抑え盛土工により斜面の安定を図る。 ・地すべりの誘因となる地下水を集水井からのボーリング暗渠工等により排除する。 ・排水対策として、抑え盛土への大型暗渠工設置や種子散布工を実施することで安定性を図る。 <p>【保全対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家50戸、市道3,550m、一級河川笹子川、田25ha、橋梁4基 					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増減	理由等	
	事業費	530,000	687,180	157,180	資材費の上昇及び抑え盛土への	
	経費				排水対策追加のため	
	内訳	工事費	460,000	606,569	146,569	
		用補費				
		その他	70,000	80,611	10,611	
	財源内訳	国庫補助	265,000	343,590	78,590	
	県債	238,500	309,231	70,731		
	その他					
	一般財源	26,500	34,359	7,859		
	事業内容	排土工、盛土工、調査等、集水井工、ボーリング暗渠工、床固工、山腹工	排土工、盛土工、調査等、集水井工、ボーリング暗渠工、床固工、山腹工			
事業の進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画 6.9億円 令和6年度末投資額 4.6億円 進捗率 66.7% 					
事業推進上 の課題	・特になし					
関連する計 画等	・「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本政策として「強靱な県土の実現と防災力の強化」が位置づけられている。					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	・特になし					
事業効果把 握の手法及 び効果	指標名	森林の山地災害防止機能が適切に発揮された集落数				
	指標式	集落数累計				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	1,091集落	データ等の出典	森林環境保全課調べ		
	実績値 b	982集落				
	達成率 b/a	90.0%	把握の時期	令和7年3月		

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> 地すべり活動が再度活発化した場合、一級河川笹子川のほか人家や市道等の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがあり、事業実施について市や地域住民からの強い意向があることから、当事業の必要性は高い。 	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> 計画した対策工の着実な実施により、地すべり活動は沈静化しているものの、地すべりの再活動による災害発生の際は、人命への危険や公共施設等への影響が懸念されることから、当事業の緊急性は高い。 	21点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> 対策工の実施により、目標安全率に達成しており、現時点において明瞭な地すべり変動は認められないことから、当事業の有効性は高い。 	10点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の費用便益比は2.03であり、当事業の効率性は高い。 地下水排除工において、集水井やボーリング延長が最短となるよう設計し、コスト削減を図っている。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民及び由利本荘市からは事業実施について強い要望があり、合意形成は図られている。 令和6年度末の進捗率は66.7%であり概ね計画通りに進捗している。令和7年度末には74.8%になり順調な進捗が見込まれる。 掘削盛土法面について早期緑化が図られており、環境保全について十分に配慮されている。 	30点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III) 各観点において評価点が高く、県民の生命・財産を保全する上で必要な事業であり、早期完成に向けて引き続き事業の継続が必要である。	91点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業の継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

治山ダムの堤長や堤高が経済的になるようにその設置位置を検討しつつ、再生資材の積極的な利用も考慮するなど、コスト削減に努めながら事業を展開する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 地すべり防止事業

事業コード (R07-農-継-11)
箇所名 (由利本荘市鳥海町下笹子字崩ヶ沢)

1. 評価内訳

観 点	評価項目	細 別	評価基準	配点	評価点	摘 要
必要性	事業の必要性	県民のニーズ	当該施策の優先課題としての支持率が非常に高い	10	10	
			当該施策の優先課題としての支持率が高い	5		
			当該施策の優先課題としての支持率があまり高くない	1		
	計		10	10		
緊急性	災害発生の危険度	人命への影響	災害の発生により人命に危険がある	10	10	
			災害の発生により人命への影響はほとんど無い	1		
	地すべり兆候		全体的に変状が認められる	10	1	
			部分的に変状が認められる	5		
			具体的変状は認められない	1		
	林地・公共施設への影響	林地・公共施設への影響	林地・公共施設への影響が大	10	10	市道3,550m 一級河川笹子川 橋梁4基
			林地・公共施設への影響が懸念	5		
林地・公共施設への影響が小			1			
計		30	21			
有効性	当初計画からの具体的効果	目標安全率の達成率	目標の100%以上	10	10	Fs=1.17
			90%以上100%未満	5		
			90%未満	1		
	計		10	10		
効率性	事業の投資効果	費用便益比 (B/C)	1.00以上	10	10	B/C=2.03
			1.00未満	0		
	コストの縮減の検討	コスト縮減計画	実施している	10	10	集水井やボーリング延長が 最短となるよう設計
			検討している	5		
			検討していない	0		
計		20	20			
熟度	事業実施体制	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
			意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
			要件の同意を得ていない、または、調整中	1		
	これまでの進捗状況	前年度までの進捗	計画どおり進捗している	10	10	R6年度末：66.7%
			概ね計画どおり進捗している	5		
			計画より遅れている	1		
	今後の進捗見込み	課題等の有無	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5	R7年度末：74.8%
			将来的な課題はあるが、当面進捗に影響は無い	3		
			課題は解決の見込みが無く、事業の停滞が予想される	1		
	他官庁との協議調整	基本合意の有無	協議・調整済みで事業推進に影響は無い	5	5	
			協議・調整中であるが事業推進に影響は無い	3		
協議・調整中で事業推進に影響する			0			
環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5		
		配慮について検討している	3			
		特に配慮はない	0			
計		30	30			
合 計				100	91	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		